
子宮内膜症外来におかかり中の患者さまへ

December 8, 2015

東京大学医学部附属病院・女性診療科産科・子宮内膜症外来は1999年に開設され、子宮内膜症や子宮腺筋症の診断を受けた方や手術後の方、月経困難症でお困りの方などを対象に診察を続け、おかげさまで15年を経てなお今も多くのお客様に通っていただいております。

しかし、昨今、診療までお待ちいただく時間や、急な予約変更がなかなかできないなど、通院中の皆様に多大なるご迷惑をおかけしており、診療医師一同大変心苦しく思っております。そこで今回私どもは、多くの患者さまに、より良い医療を提供し、かつ、少しでも通院される患者さまの環境を改善することを目標とし、子宮内膜症外来運営の見直しを行うこととなりました。

つきましては、子宮内膜症外来通院中の患者さまのなかで、**中長期的な治療方針が決定し、症状の安定していらっしゃる方**には、連携病院の受診をご紹介させていただくこととなりました。これまでの当院での患者さまの治療経過は、私どもが診療情報提供書（いわゆる紹介状）を記載して連携先医師に引き継ぎます。また、連携病院の診療中に症状の変化や治療方針変更など必要があった場合には、再度当院を受診していただくようにするなど、一度連携病院におかかりになった後も、適切な診療連携をはかってまいります。なお、私どもがご紹介する連携病院は、当院子宮内膜症外来の診療経験のある医師が勤務しており、治療方針等も当外来と同様に行っている病院です。

担当医師より、連携病院での診療について説明があった場合は、是非とも当外来運営についてご理解いただきたく存じます。ご承諾いただけましたら、具体的な病院のご紹介、予約・通院方法など詳細についてご説明いたします。

なお、かねてよりのかかりつけ医や、通院に便利な病院などでの診療をご希望の患者さまに関しましても、診療連携が行えるよう診療情報提供書の記載などを行いますので、担当医師にご相談ください。

みなさまに最善の医療を提供できるよう、一同努力してまいりますので、ご理解、ご協力のほどを、よろしくお願い申し上げます。

東京大学医学部附属病院 女性診療科産科 子宮内膜症外来
問い合わせ03-3815-5411内線30539
